

青少年映画審議会／優秀映画鑑賞会推薦

太平洋戦史にその名を刻んだ
へマッカーサー元帥へ
その炎と栄光に満ちた
感動の大作!!

軍人として、人間として、夫として、あまりにも激しく燃えた風雪の生涯



MacARTHUR マッカーサー

グレゴリー・ペック / ニcolas・コスター / ダン・オハリヒー / マージ・デューセイ
製作 フランク・マッカーシー / 監督 ジョセフ・サージェント / 音楽 ジェリー・ゴールドスミス (ザナック/ブラウン・プロダクション)
カラー作品 / ユニヴァーサル映画・CIC配給

■壮大なスケールで描く

〈マッカーサー元帥のすべて〉

ダグラス・マッカーサー。レイバンのサンガラスに、コーン・パイプをトレード・マークに、第2次大戦を中心とする動乱の時代を生きた男。そこには、軍人として、男として、英雄として、夫として、そして何よりも人間としてのドラマがあった……。

この映画は、一九四二年、当時62才のマッカーサーが「アイ・シヤル・リターン」という有名な誓いの言葉を残して、コレヒドールを撤退するところから始まり、82才の「老兵」として歴史から消えて去ってゆくところまで、波瀾に満ちた人間マッカーサーのすべてを、戦争というドラマの中で、ありのままに浮き彫りにした感動の大作である。

4年もの長い準備期間をかけて、大ヒット作「ジョーズ」の名プロデューサーコンビ、R・ザナックとD・ブラウン、それにアカデミー作品賞の「バットン大戦車軍団」を製作したフランク・マッカーシーがトリオを組み、この壮大なスケールをもつドラマの映画化を実現した。

監督は「サブウェイ・パニック」の鬼オジョセフ・サージェントが、アクションとドラマをうまく交錯させ、初の大任を果している。その他のスタッフには、脚本を「続・激突ノカウジャック」で、カンヌ映画祭脚色賞を獲得したハル・バーウッドとマシュー・ロビンスのコンビ。音楽は「オリーメン」「カプリコン1」のベテラン、ジェリー・ゴルドスミスが当たっている。

さて主役のマッカーサー役は、ジョージ・C・スコット、ローレンス・オリビエなどの候補の中から、グレゴリー・ペックが選ばれ、彼の長いキャリア中、最高かつ迫真の演技をみせている。

その他のキャストは、実力派の強い演技陣で固められ、イメージが邪魔をするようなスター級の俳優は、故意に退けられている。

■アメリカ陸海軍が全面協力のアクション・シーン!

この映画の撮影にあたっては、アメリカ陸海軍の絶大な協力を得ている。ウエストポイント陸軍士官学校、ペンデルトン海軍基地などが映画の全篇に渡って使われている。また戦闘場面では、陸海軍が特別な訓練をして実戦さながらのエキストラで参加している。

■ダグラス・マッカーサー

生粋の軍人を父に、二八〇八年アーカンソ州リトル・ロック生まれ。23才で陸軍士官学校を首席で卒業。陸軍勤務となる。50才で大将になり、55才でフィリピン軍顧問。一時退役したが、61才で現役復帰。その後はこの映画で忠実に描かれている。

■スタッフ

製作総指揮……リチャード・D・ザナック
 ……デビッド・ブラウン
 製作……フランク・マッカーシー
 脚本……ハル・バーウッド
 ……マシュー・ロビンス
 撮影……マリオ・トシ
 ……ジェリー・ゴルドスミス
 音楽……

■キャスト

マッカーサー元帥……グレゴリー・ペック
 ルーズベルト大統領……ダン・オハリヒー
 トルーマン大統領……エド・フランダース
 ハク大佐……ニコラス・コスター
 マッカーサー夫人……マージ・デュセイ
 ウェインライト中将……サンディ・ケニヨン
 (上映時間 2時間8分)



MacARTHUR

マッカーサー

〈カラー作品〉 丸の内ピカデリー
 ユニヴァーサル映画/CIC配給

新春 第2弾 1月21日(土)ロードショー! 特別鑑賞券 ¥1,000 絶賛発売中!
 (一般 ¥1,300・大学 ¥1,200)の処 丸の内ピカデリー (201) 2 8 8 1